

—資料—

## 生薬規格の国際調和

## — 局方にみる生薬の基原植物 —

酒井英二<sup>a)</sup>、田中俊弘<sup>a)</sup>、合田幸広<sup>b)</sup>

**要約：**代替医療として漢方薬あるいは生薬への関心が高まる中で、名称の類似、同名異物の問題が表面化してきている。そこで、2002年3月に西太平洋地区の5カ国6地域（日本、中国、韓国、ベトナム、シンガポール、香港）の専門家により『生薬・薬用植物に関する国際調和のための西太平洋地区討論会（FHH：Western Pacific Region Forum for the Harmonization of Herbal Medicines）』が発足した。FHH活動の一つに生薬の基原植物に関するものがあり、今回4カ国の局方に収載される共通生薬について比較表を作成したので報告する。

**索引用語：**生薬、薬局方、国際調和、基原植物

### International Harmonization of Herbal Medicine Standard — Origin Plants of Herbal Medicines in the Four Pharmacopoeias —

Eiji SAKAI<sup>a)</sup>\*, Toshihiro TANAKA<sup>a)</sup>, Yukihiro GOUDA<sup>b)</sup>

**Abstract:** The interest in Chinese herb medicine or crude drugs is rising as alternative medicine. However, a big problem has been turning up about herbal medicines. The cause is in the similarities of the names of herbal medicines. Therefore, the Western Pacific Region Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) was inaugurated by specialists of 5 countries of 6 areas (Japan, China, Korea, Vietnam, Singapore, Hong Kong) of the west Pacific areas in March, 2002. The nomenclature of medicinal plants is the subject as one of the FHH activities. We report here on a comparative table about the herbal medicine that is found in four countries of pharmacopoeia.

**Keyphrases:** herbal medicine, pharmacopoeia, international harmonization, origin plant

## 1. 緒言

代替医療として漢方薬あるいは生薬への関心が高まる中で、名称の類似、同名異物、使用部位の違いによる問題が表面化してきている。例えば、名称が類似しているためにウマノスズクサ科植物を基原植物とする生薬『カンモクツウ：関木通』とアケビ科植物を基原植物とする生薬『モクツウ：木通』の取り違いにより発生した医療事故については記憶に新しいところである<sup>1)</sup>。ウマノスズクサ科植物には重度の腎障害を引き起こすアリストロキア酸が含まれており、その使用には十分な注意が払われている。しかし、名称の類似した木通と取り違えられたことで、長期摂

取が行われたと考えられる。これをうけて、FDAが取引等に関する注意喚起を行ったが、名称類似という観点から木通も危険生薬のリストにあがる結果となった<sup>2)</sup>。使用部位に関しては、『センナ』の例をあげることができる。センナの葉軸は食品としては使用できない部位（いわゆる専ら医薬品）であるにもかかわらず、取扱業者の植物学的知識が曖昧なために茎と誤認され、『センナ茎』と称して『いわゆるダイエット食品』に使用されたことで下痢等の被害が発生している<sup>3)</sup>。

これらの事故を未然に防ぐためには、生薬およびその基原植物に関する正しい認識が必要になってくる。特に、生

a) 岐阜薬科大学薬草園研究室 (〒502-8585 岐阜市三田洞東 5-6-1)  
*Laboratory of Herbal Garden, Gifu Pharmaceutical University (5-6-1, Mitahora-higashi, Gifu 502-8585, JAPAN)*

b) 国立医薬品食品衛生研究所 (〒158-8501 東京都世田谷区上用賀 1-18-1)  
*National Institute of Health Sciences (Kamiyouga 1-18-1, Setagaya-ku, Tokyo 158-8501, JAPAN)*

薬資源は中国に依存することが多く、中国での流通事情を把握することは重要であり、著者らは以前より日本薬局方と中華人民共和国薬典収載生薬の名称や基原植物について比較を行い、その類似点、相違点を明らかにしてきた。

今回、『生薬・薬用植物に関する国際調和のための西太平洋地区討論会(FHH: Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines)』が発足したことを受け、韓国薬局方、ベトナム薬局方を加えた4ヶ国の局方に収載される生薬に関して名称および基原植物の比較を行った。

## 2. FHH設立<sup>4)</sup>

西太平洋地区の5カ国6地域(日本、中国、韓国、ベトナム、シンガポール、香港)の監督機関およびそれに関連した研究機関の関係者により2002年の3月にFHHが設立された。本フォーラムは、生薬の安全性、有効性、品質に関連した試験法等の技術的な問題について話し合い、関係者にとって有用な技術的な知見と合意を得ることを目的としている。日本からは、日本薬局方調査会生薬等委員会が窓口となり参加しており、同年5月には、Nomenclature and Standardizationに関する第1回の分科会が、厚生労働省国立医薬品食品衛生研究所(東京)で開催された。同分科会ではNomenclature, Testing Method in Monographs, List of Chemical Reference Standards and Reference of Medicinal Plant Materials、List of Analytically Validated Method、Information on General Testの5つの技術委員会が組織され、4カ国(日本、中国、韓国、ベトナム)の局方について、比較表を作成することが決定された。シンガポール、香港は独自の局方がなく、今回の比較表作成には参加していない。同年7月には、ソウルで、Quality Assurance and Information Exchangeに関する第1回の分科会が開催作成された。作成された比較表は、2003年4月に北京での会議を経て、Webにて公開されている<sup>5)</sup>。

## 3. 4ヶ国の局方の比較

方法：日本薬局方(JP<sup>6)</sup>：第14改正日本語版および日本薬局方外生薬規格1989年日本語版、第14改正英語版)、中華人民共和国薬典(CP<sup>7)</sup>：2000年中国語版、参考1997年英語版)、韓国薬局方(KP<sup>8)</sup>：第7版英語版)、ベトナム薬局方(VP<sup>9)</sup>：2002年ベトナム語版)に収載される植物ラテン名の一覧を作成した。次に4ヶ国あるいは3ヶ国の局方に共通する植物がある場合には、それに対応する生薬ラテン名、英名を記載した。その後、生薬品目順の一覧表とした。

結果および考察：生薬と基原植物は、1対1対応のみでなく、1対多に対応しているものも多くあり、国により対応する数も異なっていた。例えば、『ショウマ』に対して

JPでは *Cimicifuga simplex*, *C. dahurica*, *C. foetida*, *C. heracleifolia* の4種類が基原植物としてあげられているが、CPとVPでは前述の *C. simplex* を除く3種類が、KPでは *C. heracleifolia* のみが収載されていた。この場合、*C. heracleifolia* は4局共通の基原植物であり、ショウマを4局共通生薬と定義した。

Table 1 Crude Drug of *Cimicifuga* spp.

JP	
Latin Title	CIMICIFUGAE RHIZOMA
English Title	Cimicifuga Rhizome
Original Plant	<i>C. simplex</i>
	<i>C. dahurica</i>
	<i>C. foetida</i>
-----	
KP	
Latin Title	CIMICIFUGAE RHIZOMA
English Title	Cimicifuga Rhizome
Original Plant	<i>C. heracleifolia</i>
-----	
CP	
Latin Title	RHIZOMA CIMICIFUGAE
English Title	Largetrifoliosus Bugbane Rhizome
Original Plant	<i>C. heracleifolia</i>
	<i>C. dahurica</i>
	<i>C. foetida</i>
-----	
VP	
Latin Title	RHIZOMA CIMICIFUGAE
Original Plant	<i>C. heracleifolia</i>
	<i>C. dahurica</i>
	<i>C. foetida</i>

CP: Pharmacopoeia of The People's Republic of China

JP: The Japanese Pharmacopoeia

KP: The Korea Pharmacopoeia

VP: Pharmacopoeia Vietnamica

トウキは日本では *Angelica acutiloba* を基原植物としているが、中国では *A. sinensis* を、韓国では *A. gigas* を基原植物としている。さらに、韓国では *A. acutiloba* を日当帰と称して区別している。ベトナムでは、*A. acutiloba* と *A. sinensis* は別の生薬として定義している。この場合は明らかに異なる生薬であといえる。この他にビャクシ、ドッカツ(日本ではトウドッカツ)といった *Angelica* 属植物を基原植物としている生薬があるが、これらの場合は基原植物が共通している。

*Atractylodes* 属を基原植物としている生薬にはビャクジュツ、ソウジュツの2品目があり、各国で共通した植物を定義している。ただし、生薬ラテン名および英名の表記が異なり、複数の基原植物が定義されている点で、同等として扱うには調整が必要と考えられるが、今回は共通生薬として取り扱うこととした。

ただし、同属植物由来の異なる生薬が多数存在することは、実際の基原鑑別を難しくする要因になっている。

植物由来の生薬収載品目はJP(256品目)、CP(438品目)、KP(160品目)、VP(314品目)であり、その内52品目に関しては4局共通生薬であった。さらに3局共通生薬まで含めると104品目であった。

Table 2 Crude Drug of Angelica spp.

Latin Title English Title Original Plant	Latin Title English Title Original Plant	Latin Title English Title Original Plant	Latin Title English Title Original Plant
ANGELICAE RADIX JP Japanese Angelica Root 当帰 <i>A. acutiloba</i> <i>A. acutiloba</i> var. <i>sugiyamae</i>	ANGELICAE GIGANTIS RADIX KP Korean Angelica <i>A. gigas</i>	ANGELICAE DAHURICAE RADIX JP Angelica Dahurica 白帰 <i>A. dahurica</i>	ANGELICAE PUBESCENTIS RADIX JP Angelica Pubescens Root 唐独活 <i>A. pubescens</i>
RADIX ANGELICAE ACUTOLOBAE VP <i>A. acutiloba</i>	RADIX ANGELICAE SINENSIS CP Chinese Angelica 当帰 <i>A. sinensis</i>	ANGELICAE DAHURICAE RADIX KP Angelica Dahurica Root <i>A. dahurica</i>	RADIX ANGELICAE PUBESCENTIS CP Doubleteeth Pubescent Angelica Root 独活 <i>A. pubescens</i> , f. <i>biserrata</i>
RADIX ANGELICAE ACUTOLOBAE VP <i>A. acutiloba</i>	RADIX ANGELICAE SINENSIS VP <i>A. sinensis</i>	RADIX ANGELICAE DAHURICAE VP <i>A. dahurica</i> <i>A. dahurica</i> var. <i>formosana</i>	RADIX ANGELICAE PUBESCENTIS VP <i>A. pubescens</i>

CP: Pharmacopoeia of The People's Republic of China  
JP: The Japanese Pharmacopoeia

KP: The Korea Pharmacopoeia  
VP: Pharmacopoeia Vietnamica

Table 3 Crude Drug of Atractylodes spp.

Latin Title English Title Original Plant	Latin Title English Title Original Plant
ATRACTYLODIS LANCEAE RHIZOMA JP Atractylodes Lancea Rhizome 蒼朮 <i>A. lancea</i> , <i>A. chinensis</i>	ATRACTYLODIS RHIZOMA KP Atractylodes Rhizome <i>A. lancea</i> , <i>A. chinensis</i>
ATRACTYLODIS RHIZOMA KP Atractylodes Rhizome <i>A. lancea</i> , <i>A. chinensis</i>	RHIZOMA ATRACTYLODIS CP Atractylodes Rhizome 蒼朮 <i>A. lancea</i> , <i>A. chinensis</i>
RHIZOMA ATRACTYLODIS VP <i>A. lancea</i> , <i>A. chinensis</i>	RHIZOMA ATRACTYLODIS RHIZOMA JP Atractylodes Rhizome 白朮 <i>A. japonica</i> , <i>A. ovata</i>
ATRACTYLODIS RHIZOMA ALBA KP Atractylodes Rhizome White <i>A. japonica</i> , <i>A. ovata</i>	RHIZOMA ATRACTYLODIS MACROCEPHALAE CP Largehead Atractylodes Rhizome 白朮 <i>A. macrocephala</i> (= <i>A. ovata</i> )
RHIZOMA ATRACTYLODIS MACROCEPHALAE VP <i>A. macrocephala</i> (= <i>A. ovata</i> )	

CP: Pharmacopoeia of The People's Republic of China  
JP: The Japanese Pharmacopoeia  
KP: The Korea Pharmacopoeia  
VP: Pharmacopoeia Vietnamica

Table 4 Latin Title of Pharmacopoeia

CARTHAMI FLOS
JP, KP <u>genus + used part</u>
GENTIANAE SCABRAE RADIX
species + used part
FLOS CARTHAMI
RADIX GENTIANAE
CP, VP <u>used part + genus</u>
RADIX GENTIANAE MACROPHYLLAE
CORTEX MAGNOLIAE OFFICINALIS
used part + species

CP: Pharmacopoeia of The People's Republic of China  
JP: The Japanese Pharmacopoeia  
KP: The Korea Pharmacopoeia  
VP: Pharmacopoeia Vietnamica

共通生薬である 104 品目について、生薬ラテン名の表記方法に関して比較した結果、概ね J P と K P では植物名 + 使用部位、C P と V P では使用部位 + 植物名の順となっていた。また、植物名についても属名のみ記載される場合と、種名まで記載される場合とがあった。例えば『コウカ』については、J P および K P では Carthami Flos、C P および V P では Flos Carthami と記載されている。

また、J P および K P では Gentianae Scabrae Radix と記載されるのに対して C P および V P では Radix Gentianae と記載されている。さらに Radix Gentianae Macrophylla という同属植物基原の別生薬も記載されている。このような同属植物を基原としている類似生薬の存在が、基原植物の理解を複雑にしていることが明らかになった。

生薬ラテン名および英名の記載方法に関して、各国で違いが認められるが、このことが生薬の取り違いの原因となっていると考えられる。国際調和の観点から、生薬ラテン名および英名の付け方について共通の定義をする必要があると考えられる。その場合、属名だけでなく小種名も含めた形にすることが望ましいことを提案する。

生薬の国際調和を考えた場合、最大の問題点は生薬名と基原植物が 1 対 1 で対応していないことと考えられる。しかし、使用経緯や基原植物の分布域から考えると、1 対 1 対応に変更することは困難であり、また 1 基原に絞り込むことに関して明確な根拠もないことから、基原植物については現状を尊重することが望ましいと考える。また、各国で基原植物を統一して同じ生薬とする必要性も無いと考えられる。むしろ、どの点が同じで、どの点で異なるのかを正しく理解することが急務であり、重要と考えられる。

本研究では基原植物の観点から 104 品目を 4 カ国（日本、中国、韓国、ベトナム）共通生薬として定義した。これらは、局方生薬の国際調和を考える上で必要な資料になり得ると考えている。今後は、性状記載、確認試験、各種規定値について詳細に各国局方について比較検討を行い、共通生薬としてそのまま利用できる品目と、異なる点があり注意が必要な品目とを明らかにしていく予定である。

今回定義した共通生薬のうち、生薬名と基原植物が1対1対応になっている生薬は28品目あり、今後の国際調和を考えるモデルケースとして大きな意味を持つものと考え、資料として添付する。

本研究の一部は、厚生労働科学研究補助金特別研究事業(生薬規格の国際調和に関する研究)によって行われた。

#### 4. 引用文献および注

- 川村智子, 長田有布希, 奥田和代, 久田陽一, 酒井英二, 田中俊弘, 立松勇, *Natural Medicines*, 57, 105-109 (2003)
- U.S. Food & Drug Administration (<http://www.cfsan.fda.gov/~dms/ds-bot2.html>)
- 酒井英二, 佐竹元吉, 渡辺多加子, 池田正慶, 遠山美知子, 日本薬学会第119年会講演要旨集2, p.167 (1999, 徳島)
- 合田幸広, 厚生労働科学研究補助金特別研究事業平成14年度総括・分担研究報告書, 国立医薬品食品衛生研究所(2003)
- F H H (<http://www.fhhm.net>)
- 薬局方の国際調和に関する方針から日本薬局方外生薬規格に記載されている生薬は、順次局方に記載される予定であることから今回はJ P 収載として取り扱

うこととした。第十四改正日本薬局方第一追補の段階で、日本薬局方外生薬規格より13品目の生薬が局方収載となった。; 厚生労働省, "第十四改正日本薬局方", 2001; The Ministry of Health, Labour and Welfare, "The Japanese Pharmacopoeia 14th Edition", 2001; 日本公定書協会, 日本薬局方フォーラム, 12, p85 (2003); 厚生労働省, "第十四改正日本薬局方第一追補", 2002; 日本薬局方外生薬規格作成研究班, "日本薬局方外生薬規格1989増補版", 薬事日報社, 1989.

- 中華人民共和国薬典委員会, "中華人民共和国薬典2000年版", 2000; "Pharmacopoeia of The People's Republic of China 1997", 1997.
- 韓国薬局方に関しても、日本薬局方外生薬規格に相当するものがあるらしいが、今回入手することができなかった。; "The Korea Pharmacopoeia 7th Edition", 1998.
- 調査当時、V P の英語版は作成途中であり入手できず、英名は不明扱いとした。; "Pharmacopoeia Vietnamica Editio III", 2002.

Table 5 The original plant of a medicinal herb common to pharmacopoeia of four countries (China, Japan, Korea, Vietnam). (1)

FHH No.	Latin Title		Latin Title	
	Original Plant	Original Plant	Original Plant	Original Plant
	CP		JP	
2	RHIZOMA ALISMATIS Alisma orientale (Sam.) Juzep.	ALISMATIS RHIZOMA Alisma orientale Juzepczuk	ALISMATIS RHIZOMA Alisma orientale Juzepczuk	RHIZOMA ALISMATIS Alisma Plantago-aquatica L. var. orientale (Sammuel) Juzep. (=Alisma orientale Juzepczuk)
3	FRUCTUS ALPINIAE OXYPHYLLAE Alpinia oxyphylla Miq.	ALPINIAE FRUCTUS Alpinia oxyphylla Miquel	ALPINIAE FRUCTUS Alpinia oxyphylla Miquel	FRUCTUS ALPINIAE OXYPHYLLAE Alpinia oxyphylla Miq.
4	RHIZOMA ANEMARRHENAE Anemarrhena asphodeloides Bge.	ANEMARRHENAE RHIZOMA Anemarrhena asphodeloides Bunge	ANEMARRHENAE RHIZOMA Anemarrhena asphodeloides Bunge	Rhizoma Anemarrhenae Anemarrhena asphodeloides Bge.
10	FLOS CARTHAMI Carthamus tinctorius L.	CARTHAMI FLOS Carthamus tinctorius Linne	CARTHAMI FLOS Carthamus tinctorius Linne	FLOS CARTHAMI TINCTORII Carthamus tinctorius L.
13	FRUCTUS CORNI Cornus officinalis Sieb. et Zucc.	CORNI FRUCTUS Cornus officinalis Siebold et Zuccarini	CORNI FRUCTUS Cornus officinalis Siebold et Zuccarini	FRUCTUS CORNI Cornus officinalis Sieb. et Zucc.
15	ARILLUS LONGAN Dimocarpus longan Lour.	LONGAN ARILLUS Euphoria longana Lamour.	LONGAN ARILLUS Dimocarpus longan Lour.	ARILLUS LONGAN Dimocarpus longan Lour.
17	CORTEX EUCOMMIAE Eucommia ulmoides Oliv.	EUCOMMIAE CORTEX Eucommia ulmoides Oliver	EUCOMMIAE CORTEX Eucommia ulmoides Oliver	CORTEX EUCOMMIAE Eucommia ulmoides Oliv.
19	FRUCTUS FOENICULI Foeniculum vulgare Mill.	FOENICULI FRUCTUS Foeniculum vulgare Miller	FOENICULI FRUCTUS Foeniculum vulgare Miller	FRUCTUS FOENICULI Foeniculum vulgare Mill.
22	FRUCTUS GARDENIAE Gardenia jasminoides Ellis	GARDENIAE FRUCTUS Gardenia jasminoides Ellis	GARDENIAE FRUCTUS Gardenia jasminoides Ellis	FRUCTUS GARDENIAE Gardenia jasminoides Ellis
24	HERBA LEONURI Leonurus japonicus Houtt.	LEONURI HERBA Leonurus sibiricus Linne (=Leonurus japonicus Houtt.)	LEONURI HERBA Leonurus sibiricus Linne (=Leonurus japonicus Houtt.)	HERBA LEONURI JAPONICI Leonurus japonicus Houtt.
27	CORTEX MORI Morus alba L.	MORI CORTEX Morus alba Linne	MORI CORTEX RADICIS Morus alba Linne	CORTEX MORI ALBAE RADICIS Morus alba L.
28	SEMEN MYRISTICAE Myristica fragrans Houtt.	MYRISTICAE SEMEN Myristica fragrans Houttuyn	MYRISTICAE SEMEN Myristica fragrans Houttuyn	SEMEN MYRISTICAE Myristica fragrans Houtt.
29	SEMEN NELUMBINIS Nelumbo nucifera Gaertn.	NELUMBIS SEMEN Nelumbo nucifera Gaertner	NELUMBIS SEMEN Nelumbo nucifera Gaertner	SEMEN NELUMBINIS Nelumbo nucifera Gaertn.
31	CORTEX MOUTAN Paeonia suffruticosa Andr.	MOUTAN CORTEX Paeonia suffruticosa Andrews (Paeonia moutan Sims)	MOUTAN CORTEX RADICIS Paeonia suffruticosa Andrews (Paeonia moutan Sims)	CORTEX PAEONIA SUFFRUTICOSAE Paeonia suffruticosa Andr.
32	RADIX GINSENG Panax ginseng C. A. Mey.	GINSENG RADIX Panax ginseng C. A. Meyer (Panax schinseng Nees)	GINSENG RADIX ALBA Panax ginseng C. A. Meyer	RADIX GINSENG Panax ginseng C. A. Mey
33	RADIX PLATYCODONIS Platycodon grandiflorum (Jack.) A. DC.	PLATYCODI RADIX Platycodon grandiflorum A. De Candolle	PLATYCODI RADIX Platycodon grandiflorum A. De Candolle	RADIX PLATYCODI GRANDIFORII Platycodon grandiflorum (Jack.) A. DC.
34	HERBA POGOSTEMONIS Pogostemon cablin (Blanco) Benth.	POGOSTEMONI HERBA Pogostemon cablin Bentham	POGOSTEMONI HERBA Pogostemon cablin Bentham	HERBA POGOSTEMONIS Pogostemon cablin (Blanco) Benth.

CP: Pharmacopoeia of The People's Republic of China

JP: The Japanese Pharmacopoeia

KP: The Korea Pharmacopoeia

VP: Pharmacopoeia Vietnamica

Table 6 The original plant of a medicinal herb common to pharmacopeia of four countries (China, Japan, Korea, Vietnam). (2)

FHH No.	Latin Title	Latin Title	Latin Title	Latin Title
	Original Plant	Original Plant	Original Plant	Original Plant
	CP	JP	KP	VP
36	POLYPORUS <i>Polyporus umbellatus</i> (Pers.) Fries	POLYPORUS <i>Polyporus umbellatus</i> Fries	POLYPORUS <i>Polyporus umbellatus</i> Fries	POLYPORUS <i>Polyporus umbellatus</i> (Pers.) Fries
37	PORIA <i>Poria cocos</i> (Schw.) Wolf	PORIA <i>Poria cocos</i> Wolf	HOELEN <i>Poria cocos</i> Wolf	PORIA <i>Poria cocos</i> (Schw.) Wolf
42	RADIX SCUTELLARIAE <i>Scutellaria baicalensis</i> Georgi	SCUTELLARIAE RADIX <i>Scutellaria baicalensis</i> Georgi	SCUTELLARIAE RADIX <i>Scutellaria baicalensis</i> Georgi	RADIX SCUTELLARIAE <i>Scutellaria baicalensis</i> Georgi
43	SEMEN STRYCHNI <i>Strychnos nux-vomica</i> L.	STRYCHNI SEMEN <i>Strychnos nux-vomica</i> Linne	STRYCHNI SEMEN <i>Strychnos nux-vomica</i> Linne	SEMEN STRYCHNI <i>Strychnos nux-vomica</i> L.
46	RHIZOMA ZINGIBERIS RECENS <i>Zingiber officinale</i> Rosc.	ZINGIBERIS RHIZOMA <i>Zingiber officinale</i> Roscoe	ZINGIBERIS RHIZOMA <i>Zingiber officinale</i> Roscoe	RHIZOMA ZINGIBERIS <i>Zingiber officinale</i> Rosc.
47	SEMEN ZIZYPHI SPINOSAE <i>Zizyphus jujuba</i> Mill. var. <i>spinosa</i> (Bunge) Hu ex H. F. Chou	ZIZYPHI SEMEN <i>Zizyphus jujuba</i> Miller var. <i>spinosa</i> (Bunge) Hu ex H. F. Chou	ZIZYPHI SEMEN <i>Zizyphus jujuba</i> Miller (= <i>Zizyphus vulgaris</i> Lamarck var. <i>spinosus</i> )	SEMEN ZIZYPHI MAURITIANAE <i>Zizyphus mauritiana</i> Lamk. (= <i>Zizyphus jujuba</i> ?)
48	SEMEN COICIS <i>Coix lacryma-jobi</i> L. var. <i>ma-yuen</i> (Roman.)	COICIS SEMEN <i>Coix lacryma-jobi</i> Linne var. <i>ma-yuen</i> Stapf	COICIS SEMEN <i>Coix lacryma-jobi</i> Linne var. <i>ma-yuen</i> Stapf (= <i>Coix lacryma-jobi</i> )	SEMEN COICIS <i>Coix lacryma-jobi</i> L. (= <i>Coix lacryma-jobi</i> )
49	RHIZOMA IMPERATAE <i>Imperata cylindrica</i> Beauv. var. <i>major</i> (Nees) C. E. Hubb.	IMPERATA RHIZOMA <i>Imperata cylindrica</i> Beauvois	IMPERATAE RHIZOMA <i>Imperata cylindrica</i> Beauvois	RHIZOMA IMPERATAE CYLINDRICA <i>Imperata cylindrica</i> P. Beauv
50	HERBA MENTHAE <i>Mentha haplocalyx</i> Briq. (= <i>Mentha arvensis</i> var. <i>piperascens</i> ?)	MENTHAE HERBA <i>Mentha arvensis</i> Linne var. <i>piperascens</i> Malinvaud	MENTHAE HERBA <i>Mentha arvensis</i> Linne var. <i>piperascens</i> Malinvaud	HERBA MENTHAE ARVENSIS <i>Mentha arvensis</i> L.
51	SPICA PRUNELLAE <i>Prunella vulgaris</i> L.	PRUNELLAE SPICA <i>Prunella vulgaris</i> Linne var. <i>lilacina</i> Nakai	PRUNELLAE SPICA <i>Prunella vulgaris</i> Linne var. <i>lilacina</i> Nakai	SPICA PRUNELLAE <i>Prunella vulgaris</i> L.
52	FRUCTUS JUJUBAE <i>Zizyphus jujuba</i> Mill.	ZIZYPHI FRUCTUS <i>Zizyphus jujuba</i> Miller var. <i>inermis</i> Rehder	ZIZYPHI FRUCTUS <i>Zizyphus jujuba</i> Miller var. <i>inermis</i> Rehder	FRUCTUS ZIZYPHI JUJUBAE <i>Zizyphus jujuba</i> Mill. var. <i>inermis</i> (Bae)

CP: Pharmacopeia of The People's Republic of China

JP: The Japanese Pharmacopeia

KP: The Korea Pharmacopo

VP: Pharmacopeia Vietnamica